

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 05 15	中期総合計画主要施策番号	3-08	担当課	部・課	農政部農地整備課	
事業名	ため池危険度調査事業				内 線	3153	
					E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H7 ~	根拠法令等	災害対策基本法、長野県地域防災計画				
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	国庫補助事業
事業の概要等	目的 (必要性)	県下には約2,000箇所の農業用ため池があり、営農の推移とともに築造され関係農家によって維持されているが、中には損傷が著しく危険性が高いものもある。これらが豪雨等に伴い決壊した場合、下流に甚大な被害を与えるおそれがある。そこで、ため池の現状を把握し、計画的なため池補強工事を行う。					
	対 象	日常の維持管理等により異状が発見された農業用ため池					
	目指すべき姿	緊急度の高いものから順次補強工事を実施し、被害の発生を未然に防止する。					
	事業内容	次に掲げるため池調査（現地調査） ・決壊時における下流域の想定被害 ・周辺の地形、地質、活断層との接近度 ・基礎地盤及び堤体からの漏水状況 ・堤体の亀裂及び変形状況 他					
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳  委託料:7,019千円
	最終予算額 (A)		千円	7,631	7,020	7,920	
	決 算 額 (B)		千円	7,631	7,019		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	5,088	4,680	5,280	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.30	0.30	0.30	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	10,126	9,497	10,397	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績  (効率指標 算定式) 概算事業費 / 調査箇所数
	調査箇所数(活)		箇所	26	26	20	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1箇所当たり事業費		千円 / 箇所	389	365	520	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	調査ため池数 26箇所			調査箇所数は、目標どおりの26箇所であり、期待した防災水準の確保が図られた。			b 期待どおり
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・地域防災計画に基づき、損傷が著しいため池を計画的に補強を行うためには、管理者に対して整備を促していく必要がある。 これのためには、ため池の現状把握は不可欠である。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)		・相次ぐ暴風雨や地震の大災害により、ため池の安全性について県民の関心は高まっている。 ・その一方で、高齢化や担い手不足等により維持管理に支障が生じているため池がある。 ・このような中、適正な維持管理が行えるよう県が支援を行っていく必要がある。				
	特記事項						